

授業科目名 (英文名)	高分子化学	科目区分 対象学生	
単位数	2.0	開講年次・ 学期	2年次・前期
担当教員	遊佐 真一	所属	工学研究科
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	<p>1年次までに学んだ有機化学は低分子の合成や特性を扱った。高分子とは何であろうか？身の回りには種々の高分子があふれており、生命体も高分子から形成されている。</p> <p>本講義では、有機化学の知識をもとに、様々な高分子の合成方法に関して、最新の合成方法を交えながら高分子に関する一般的な合成方法の習得を目的とする。</p>		
講義内容・授業計画	<p>科目の位置付け、教育内容・方法 有機化学の理解をもとに、身近に多く存在する高分子化合物とはどのようなものなのか、どのようにして合成されているのかを学ぶ。 高分子化合物の構造を例にし、それぞれの合成方法に関して、有機化学的な見地から演習を交えながら理解する。</p> <p>授業計画</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高分子とは 2. 高分子合成 3. ラジカル重合 4. ラジカル重合 2 5. ラジカル重合 3 6. 共重合 7. 中間試験 8. イオン重合 9. カチオン重合 10. アニオン重合 11. 配位重合 12. 重縮合 13. 重縮合 2 14. 重付加 15. 高分子反応 <p>学習効果は定期試験およびレポートで評価を行う。 達成目的を十分に理解して身に付けることにより単位を取得できる。</p>		
テキスト	新高分子化学序論（化学同人）		
参考文献	三訂 高分子化学入門、NTS出版、蒲池幹治		
成績評価の基準・方法	定期試験（90%）およびレポート（10%）		
履修上の注意・履修要件			
実践的教育	該当しない		
備考	本学の配布資料を参照してください。		